

各地連の集会で課題を共有化へ



区長会は、制度の見直しにより、技能2016賃金・業務系人事制度に影響が確定交渉期に見込まれるときには、その「行政系人事 対応について、皆さんと協

区長会は、制度の見直しにより、技能2016賃金・業務系人事制度に影響が確定交渉期に見込まれるときには、その「行政系人事 対応について、皆さんと協

行政系職員の職種・職層別職員構成(特別区人事・厚生事務組合「平成28年度事務分担表」から)

職層						
1級職	2級職	主任主事	主査	係長	総括係長	管理職
3,481人	11,423人	21,600人	2,738人	5,420人	2,623人	2,046人
49,331人						
7.1%	23.2%	43.8%	5.6%	11.0%	5.3%	4.1%
21.9%						

清掃職員の職種・職層別職員構成

職層			
技能1級職	技能主任	技能長	統括技能長
1,001人	1,898人	359人	56人
3,314人			
30.2%	57.3%	10.8%	1.7%
12.5%			



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任
企画・総務局
多田修一郎

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

「現業系人事制度改革」各地連を巡る調査報告会を開催

厳しいが区民の信頼へスタート



6月30日(金) 杉並工場支部の結成大会が開催されました。坂本副中央執行委員長、嶋根第四地連議長から連帯のあいさつを経て、

議事である第1号議案運動方針が、第4号議案支部役員までが参加者全員の拍手を持って確認されました。大会の最後に、新たに選出された支部長からの力強い団結カンパニーで閉会しました。

杉並清掃工場は1970年代のゴミ戦争を経て、その後、さまざまな問題を経て新たな杉並清掃工場が立ち上がり、そのための工場運営に関しては、他工場と比較しても厳しいものと言えます。区民の信頼を得る、安定的な中間処理を確立するために、私たちが協力していきましょう。

(西村 好勝)

「杉並工場支部・結成大会」開催

6月30日(金) 杉並工場支部の結成大会が開催されました。坂本副中央執行委員長、嶋根第四地連議長から連帯のあいさつを経て、

議事である第1号議案運動方針が、第4号議案支部役員までが参加者全員の拍手を持って確認されました。大会の最後に、新たに選出された支部長からの力強い団結カンパニーで閉会しました。

杉並清掃工場は1970年代のゴミ戦争を経て、その後、さまざまな問題を経て新たな杉並清掃工場が立ち上がり、そのための工場運営に関しては、他工場と比較しても厳しいものと言えます。区民の信頼を得る、安定的な中間処理を確立するために、私たちが協力していきましょう。

(西村 好勝)

「第23回自治労関東甲地連青年女性夏期交流集会」開催

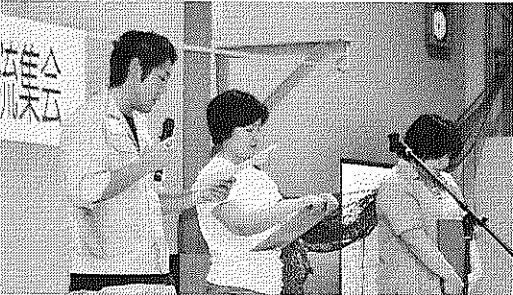
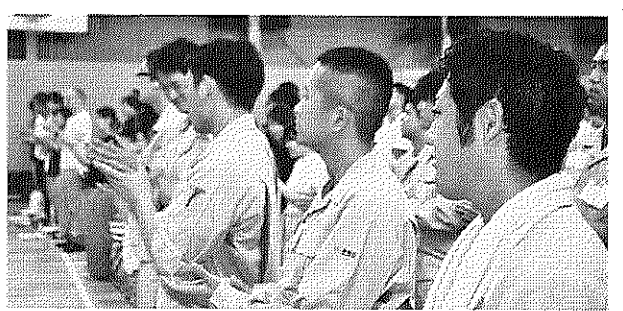
問題の本質を考え仲間学ぶことが大事

第23回自治労関東甲地連青年女性夏期交流集会は、初日の開会集会で、重黒に学ぶことが大事」と基調提起がありました。

2日目は「職種別分散」が61分散会場で行われました。清掃部門では事前アンケートや手帳、職場・生活ポートを使い、職場・生活実態について仲間と熱い討論を行いました。半数近くが今年採用された新しい仲間である中、「今のままの賃金では、生活することが困難」等の意見が寄せられました。

3日目の閉会集会では最初に分散会報告が行われました。4分散会それぞれが厳しい職場の問題について語り合い、闘う仲間づくりの大切さを共有してきた様子が報告されました。

(高木青年部長)



3日目の閉会集会では最初に分散会報告が行われました。4分散会それぞれが厳しい職場の問題について語り合い、闘う仲間づくりの大切さを共有してきた様子が報告されました。

(高木青年部長)

7月10日〜12日にかけて「山城博治沖縄平和運動センター議長裁判勝利！辺野古新基地建設反対！連続現地闘争に参加して」に参加してきました。

山城博治沖縄平和運動センター議長裁判勝利！ 辺野古新基地建設反対！連続現地闘争に参加して 報道されない沖縄の現状



山城さん 稲葉さん 添田さん 3人の裁判に勝利しよう
政治弾圧を許さない支援集会
支援する会 勝ちとる会 県民会議 オール沖縄会議 平和フォーラム

那覇地裁前での支援集会

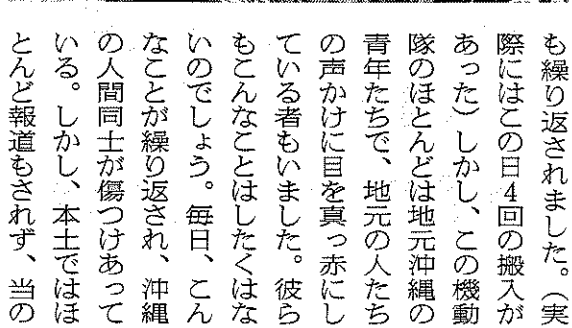
ンター議長裁判勝利！辺野古新基地建設反対！連続行動」に参加してきました。初日は学習会が行われ、現地の沖縄平和運動センターの大城事務局長より現地報告として、高江や辺野古の状況の説明がありました。辺野古が完成しても普天間は返還しないと出ているという話や高江ヘリパッド建設が当初予算の6億5千万から実際には94億かかっていること、辺野古の工事でも大規模な調査によると、地質がもろく、予定通りの工事は出来ないのではなからぬといわれており、それでも工事を進めているのはアメリカ軍や県民をはじめとした反対派に対するアピールだろうという話など、本土では耳にしない話ばかりでした。



機動隊の車の周りの座り込み



機動隊に「ごぼう抜き」される参加者



機動隊による「囲い込み」

学習会終了後、山城博治さん本人を向かえ交流会を行いました。冒頭の挨拶で、山城さんから国連での訴えについての説明がありました。「軽微な罪にこれほどの圧力を加えるのは、もはや人権問題だ」との声もあられました。小さな日本の小さな島のことだから、皆知らないだろうと思っていたが、皆、沖縄のことは良く知っていて逆に注目していることもはじめて知った。非常に力強くうれしかった。と報告がありました。2日目は、朝6時に沖縄県庁前をバスで出発し、キャンプシュワブゲート前へ向かいました。キャンプシュワブの搬入ゲート前には、機動隊の車両が止められ、10人ほどの警備会社の

も繰り返されました。(実際にこの日4回の搬入があった)しかし、この機動隊のほとんどは地元沖縄の青年たちで、地元の人たちの声かけに目を真っ赤にしている者もいました。彼らもこんなことはしたくはないのでしょ。毎日、こんなことが繰り返され、沖縄の人間同士が傷つけあっている。しかし、本土ではほとんど報道もされず、当のアメリカ軍や安倍は見てもいない。本当にやるせない怒りを感じました。せめて、我われが見てきたもの、感じたことを少しでも多くの人に伝えなければいけないと思いました。7月12日、那覇地裁において山城さんの第7回公判が開かれるのに合わせて、裁判所前の城岳公園で事前集会がもたれました。フォーラム平和・人権・環境の勝島事務局長より連帯の挨拶があり、山城博治さん本人からも力強い挨拶がありました。その間も「壊した自然は元に戻らないんだぞ」「お前ら、アメリカのために働いてるのか」「お前らの腕打撲で全治2週間の診断書も本人の希望で全治2週間とした」と証言し、原告本人も「山城を確認したか」の問いに「背後から」

全ての裁判に勝利し、沖縄に民主主義を取り戻す

沖縄は無法地帯だとか共謀罪の先取りだといわれてきたことが良くわかる内容でした。この裁判は勝つて

際、右腕にアザがあったもののレントゲンなどの検査ではまったく異常は無く、診断書も本人の希望で全治2週間とした」と証言し、原告本人も「山城を確認したか」の問いに「背後から」だっただけで確認はしていません。沖繩は無法地帯だとか共謀罪の先取りだといわれてきたことが良くわかる内容でした。この裁判は勝つて

地域住民から必要とされる現業職員を目指して！



第1回現業政策集会にわが組合からは11名が参加

自治労は2017年7月22日(土)から24(月)にかけて、千葉県幕張の地において第1回現業政策集会を開催し、わが組合からは11名が参加してきました。今までの現業政策は職

自治労本部「第1回現業政策集会」を開催

今、現業政策集会で学んだ「地域住民から必要とされる現業職員」を目指し、新規採用に繋げるよう、東京清掃でも積極的に議論を行い、今後の取組みに繋げて行かなければならないと考えています。(渡辺 歩)